

報 道 各 位

コメの先物取引の試験上場については、本年8月7日に2年間の試験上場期間が経過することから、7月8日、農林水産大臣に対して、試験上場を更に2年間延長することを内容とする定款変更の申請を行いました。

申請後これまでの間、本申請に対する農林水産省の審査が続けられてきましたが、8月7日、同省から、本申請を認可する旨の通知を受けたところです。

このたび、本所が試験上場の延長の認可を受けることができたのは、これまでに取引に参加された皆様、また、先物市場における適正な取引や、市場の存続に向けて御協力いただいた関係者の皆様の御指導、御協力の賜であり、まずは厚く御礼申し上げます。

一方でコメの先物取引の試験上場については、従来、価格が乱高下し、生産・流通現場に著しい支障を及ぼすとの懸念や、関係者の理解を十分に得ないまま取引が開始されたとの批判も受けており、農林水産省からは、試験上場が市場の成長性を見定める制度であり、際限なく延長を認めることは、制度の趣旨に合致しないとの考え方も今回の認可と併せて示されたところです。

同様に、コメ試験上場検証特別委員会におきましても、これまでの試験上場期間における取引の状況を振り返り、取引の裾野が十二分に広がっているとまでは言い切れない状況にあるとの報告を受けております。

これまでの試験上場期間の取引は、東日本大震災及びその後の原発事故等を契機として極めて特殊な状況下での取引であった点は事実ではありますが、新たな2年間については、農林水産省の考え方及び検証委員会のご意見を真摯に受け止め、取引所として取引参加者の裾野を広げる取組を従来にも増して行うこととしております。このため、取引参加者の多様性や、取引量等について、関係者の皆様の十分な理解が得られるまでの水準に達するよう取組を行って参りますとともに、責任をもって市場振興及び適正な市場管理に努める所存です。また、商品設計等についても、当業者の意見を十分に拝聴した上で、不断の見直しを行い、生産者をはじめ当業者及び投資家にとって、より利用しやすく、安心できる市場の実現を図って参ります。

関係者の皆様におかれましては、引き続き御指導、御協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 8 月 8 日
大阪堂島商品取引所
理事長 岡本安明